

## ① 小テスト（第 03 回－相関分析）

## 1. Problem

MULTI

30 points

0 penalty

Single

「強い正または負の相関係数が得られたとしても、サンプルサイズが小さいときは信頼出来ない場合がある」は正しいか？

1.a 正しい (100%)

1.b 正しくない

## Solution

正しい．無相関検定で有意でなければ相関について評価できない．

## 2. Problem

MULTI

40 points

0 penalty

Single

無相関検定で有意とならなかった場合，誤っている表現はどれか？

2.a 相関があるとはいえない

2.b もう一度同じ母集団からデータをとって検定すれば相関があるといえるかもしれない。

2.c 無相関である (100%)

2.d 有意な相関はない

## Solution

今回のデータからは相関があるという証拠は見つからなかったということ．統計的仮説検定では，積極的に無相関と言うことはできない．

### 3. Problem

SHORTANSWER

30 points

0 penalty

Case-Insensitive

二つの事象に因果関係が無いにも関わらず，他の要因によってあたかも因果関係があるかのように見える相関のことを\_\_\_\_\_という．空欄を補充せよ．

- ▶ 擬似相関 ✓
- ▶ 見せかけの相関 ✓
- ▶ spurious correlation ✓
- ▶ Spurious correlation ✓

### Solution

擬似相関，または見せかけの相関という．

*Total of marks: 100*